

丘の上便り

横浜中里学園

第1号

平成30年度9月 発刊

Address 青葉区みたけ台26-53

TEL 045-511-7650

創刊号に寄せて

横浜中里学園が開所して1年が経過しました。ここに至るまで、関係者の皆様の並々なめご尽力のお蔭によるものです。あらためて御礼申し上げます。

1つ目の課題が、開所にあたり、施設の名称をどうするかでした。役職員で協議した結果、地域の皆様に慕われてきた県立中里学園の伝統、そして退所児童の拠り所として「中里」の名称を残すことにしました。

2つ目は、入所児童の権利擁護です。今や権利擁護は当たり前になっています。しかしアタマで理解するのではなく、日々の生活のなかで実行する必要があります。職員は処遇を振り返るだけではなく、自己に厳しく対峙することが求められます。

3つ目は、職員確保と育成です。職員確保は、井荻園長、阿部副園長の尽力により、確保できました。一方、職員の質の向上は、児童の成長に大きく影響します。昨年度は、法人合同研修として、新任研修、子どもの権利擁護、ハラスメント、スーパーバイザー研修を実施しました。もちろん神奈川県、横浜市が主催する各種研修にも積極的に参加しております。ただ、研修にも限界があります。職員一人ひとりが学んだことをどう生かせるかは、上司・管理職のサポートと職場の風土次第です。

4つ目は、地域連携です。児童が通う幼稚園、小・中学校、高等学校は、児童の1日の3分1を過ごす場です。そして、みたけ地区自治会、児童民生委員、行政・警察等の関係機関も重要な連携先です。児童の日々の処遇では児童相談所との関係を緊密にする必要があります。



『丘の上便り』創刊にあたって

多くの方々のご支援を受け、誕生した横浜中里学園は2018年4月1日をもって、開園1周年を迎えました。学園で暮らすこどもたちも、開園当初の11名から30名に増え(2018年9月1日現在)、地域の中で元気に過ごしています。

この1年間、皆様にご心配とご迷惑をかけながらも大きな事故もなく過ごせた事は一重に保護者の皆様、物心両面で支えていただいているボランティアをはじめとする支援者の皆様、地域の方々、学校・児相・施設等関係機関の方々のおかげであり、職員一同心から感謝申し上げます。この度、学園機関紙『丘の上便り』を創刊することとなりました。

こどもたちの生活の様子や学園の取り組みなど、こどもたちたちが地域の中で健やかに成長する姿をほのぼののこの機関誌に乗せて皆様のもとへお届けしたいと思いますので、御一読いただけましたら幸いに存じます。

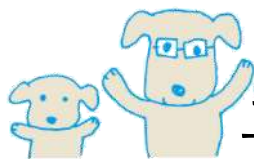


横浜中里学園創立に至るまで

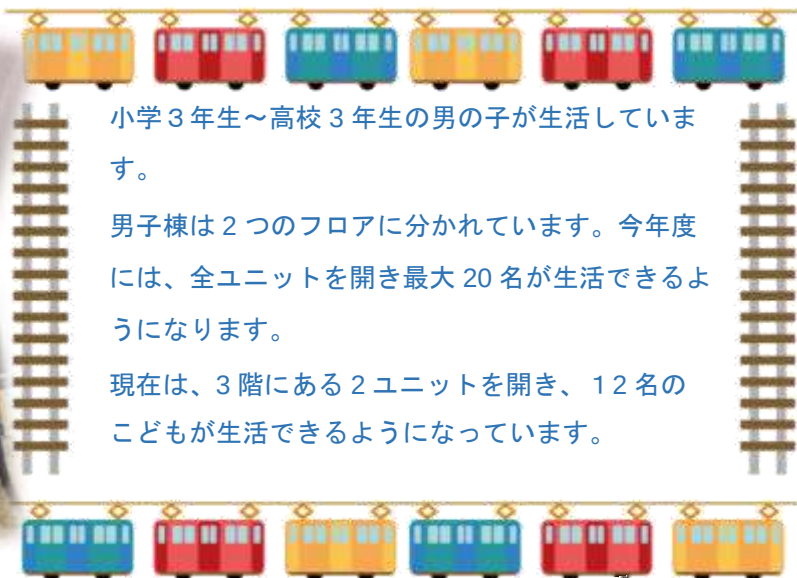
平成 29 年 4 月 1 日に正式に横浜市の認可を受け開園した、児童養護施設です。

児童自立支援施設を運営する幼年保護会が、この児童養護事業に参加するきっかけになったのは、第 4 代法人会長 有馬和光先生の「児童自立支援施設を 退園する子どもたちの受け皿となる児童養護施設を作りたい。」という思いでした。

この思いに、多くの方の支援・協働・情熱という愛が加わり、横浜中里学園は生まれました。



ユニット紹介 男子棟

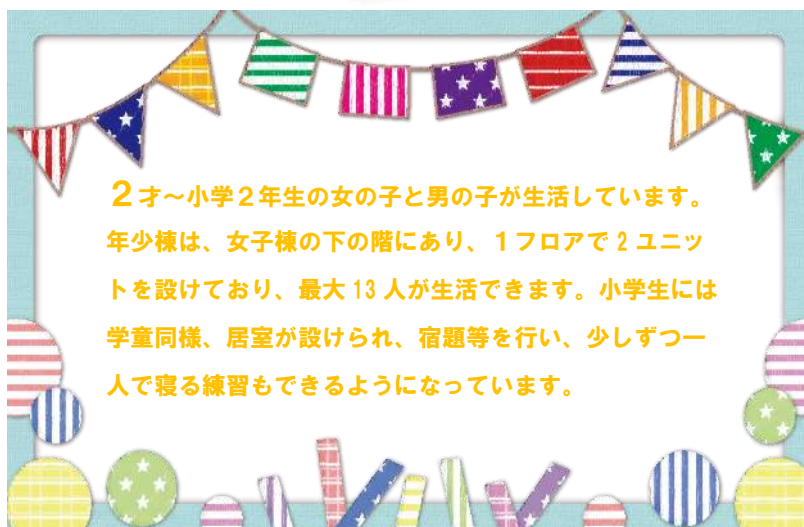


小学 3 年生～高校 3 年生の男の子が生活しています。

男子棟は 2 つのフロアに分かれています。今年度には、全ユニットを開き最大 20 名が生活できるようになります。

現在は、3 階にある 2 ユニットを開き、12 名のこどもが生活できるようになっています。

年少棟



2 才～小学 2 年生の女の子と男の子が生活しています。年少棟は、女子棟の下の方階にあり、1 フロアで 2 ユニットを設けており、最大 13 人が生活できます。小学生には学童同様、居室が設けられ、宿題等を行い、少しずつ一人で寝る練習もできるようになっています。



ひとりひとりに居室が設けられ、個人の時間も大切に出来るようになっています。

女子棟



小学 3 年生～高校 3 年生の女の子が生活しています。

女子棟は 1 フロアで 2 ユニットを設け、最大で 12 名生活できます。

習い事などに積極的に通いながら、職員と一緒に、自分で洗濯や洗い物が出来るように日々、練習を行っています。

ユニット行事

横浜中里学園では、主にユニット毎に様々な行事を行っています。ユニット職員で行事を計画・実行しますが、時には子どもたちと計画し、職員、子どもが協力して行事を楽しめるように努めています。

男子棟

131 ユニット

園外全体行事のよみうりランド

に 131 ユニットも参加しました。子ども達は普段体験する事が出来ないジェットコースター等のアトラクション、ウォータースライダー等の大きいプールに夢中になり、満面の笑顔で大はしゃぎになって駆け回って楽しんでいました。



男子棟

132 ユニット

1月7日(日)に 132 ユニット

の小中学生で、江の島神社に初詣に行きました。江の島は人が多く、迷子になりそうでした。神社も階段の下まで大勢の人が並んでおり、結局初詣は出来ず、食べ歩きをしました。普段は食べられないものを沢山食べる事が出来て皆とても喜んでいました。



女子棟

321 322 ユニット

女子棟 3 2 1・3 2 2 ユニットで

は、ユニット毎に月 1 回イベントを企画しています。

子ども達が行きたいところややりたいことの意見を参考に話し合い、計画を立てています。

今年度は、映画外出やバーベキューを行い、みんなで楽しく過ごす事ができました。



年少棟

311 312 ユニット

年少棟では、春になると夏に向けて、夏野菜の苗を植えます。

毎日、お当番が水やりを行い、野菜の成長に子どもたちは一喜一憂しています。時折、週末に成長日記をつけると「この間とこんなに違うんだね。」と子どもたちの口から聞く事が出来ます。

夏休みに収穫祭があり、皆で採れたお野菜を使ってピザを作ります。



園内行事

生活場所が違う他棟の児童とも交流を深めるいい機会となっています



バーベキュー



よみうりランド



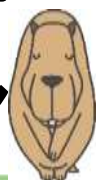
流しそうめん

毎月第3日曜日のお昼に学園全体で、その月の誕生者をお祝いしています



誕生日会

寄付・招待 ボランティア



いつも子どもたちのために
沢山の寄付や、ご招待、誠に
ありがとうございます。

寄付・寄贈一覧(順不同)

互興運輸株式会社 徳橋三郎 様

日本鏡餅組合 樋口元剛 様

ほっともっと 様

フード フォー キッズ 様

小俣組 様

小林享 様

對間貴子 様

公益財団法人 報知社会福祉事業団 様

青葉台南部地区

民生委員児童委員協議会 様

大正堂印房 横浜 様

神奈川トヨタ 様

波瀬忍 様

毎日新聞東京社会事業団 様

梅川謙一 様

向河原教会 石丸泰信 様

株式会社カレンズ 木村仁 様

三村徳子 様

太島美智子 様

株式会社シュガーレディー 鈴木雄二

様

島田（青葉こども食堂）様

（有）ダスカジャパン 様

横浜日吉ロータリークラブ 松村直樹

様

横浜保育福祉専門学校 様

みたけ台町内会 様

セカンドハーベストジャパン 様

ファンケル 様

岩見みどり 様

柴田和美 様

中村青果 様

神奈川県労働者福祉協議会 様

グランフィールズカントリーク

ラ ブ

杉山孝 様

青木智子 様

中山芳子 様

マリオン新小岩店 越川順子 様

鈴木てい子 様

神奈川新聞 厚生文化事業団 様

ヨコハマ恐竜展 事務局 様

神奈川生活協同組合 様

横浜銀行 様

諸磯ヨットオーナーズクラブ 様

株)横浜アリーナ 様

株)TVK コミュニケーションズ様

神奈川福祉事業協会 様

横浜信用金庫 様

あしながドリーム基金 様

川本工業株式会社 様

こどもの未来創造基金 様

招待一覧

DeNA ベ이스ターズ戦

横浜 FC ホームゲーム戦

国立ポリショイサーカス横浜
公演

横浜 F・マリノスホームゲーム

戦

ヨコハマ恐竜展 2017

ディズニーオンアイス

マリアと緑のプリンセス

プリンスアイスワールド 2017

お世話になっている

ボランティアの皆様

中山芳子 様

鈴木てい子 様

柴田和美 様

レコ 様

もえぎの学習支援

サポーター 様

理髪（代表 宮下正洋様）

お忙しい中
いつもありがとう
ございます。

今回の「丘の上便り」は、横浜中里学園の生活の様子を中心に記載させて頂きました。次号からはご協力頂いている皆様のご紹介もさせていただければと企画しております。今後とも末永くお

